

## 海外安全対策情報平成27年度第1四半期（4～6月）

### 1 社会・治安情勢

- (1) 治安の悪化が大きな社会問題となる中、引き続き、現政権は軍と警察の連携を図り、治安の低下が顕著なグアテマラ県を中心に治安回復作戦を進めているが治安回復上の打開策とはなり得ず、また、犯罪組織同士の抗争も絶えない。
- (2) 対日感情については良好である。

### 2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

- (1) 国家文民警察の発表によると、今年度第1四半期の当国における総犯罪発生件数は8,059件と前年度第1四半期の8,161件と比較して微減している。また、殺人件数は1,222件で前年度第1四半期の1,184件と比較して微増している。外国人の強盗被害は4件で前年度第1四半期の9件から半減、バス強盗は16件で前年度第1四半期の13件から微増しており、依然として治安回復の兆しは見られない。なお、犯罪種別の内訳は以下のとおり。

|       |            |           |
|-------|------------|-----------|
| 殺人    | 1,222件（前年比 | 3.2%増）    |
| 傷害    | 1,457件（    | ” 3.4%増）  |
| 強盗・窃盗 | 3,697件（    | ” 0.4%減）  |
| 強姦    | 189件（      | ” 7.3%増）  |
| 誘拐    | 7件（        | ” 36.3%減） |
| 行方不明  | 1,001件（    | ” 2.8%減）  |
| 家庭内暴力 | 486件（      | ” 21.1%減） |

#### (2) 銃器の蔓延

当国では、銃器が容易に入手できるため、発砲事件も頻繁に発生しており、殺人、強盗、短時間誘拐の殆どに銃器が使用されている。国家文民警察の報告によると、第1四半期で治安当局が取り扱った殺人事件1,222件のうち、銃器を使用した事件は987件（全体の80.7%）、同じく傷害事件1,457件のうち銃器を使用した事件は880件（60.3%）に達する。これら犯罪における銃の使用率は変化が無く、依然として邦人がこれら銃器を使用した犯罪に遭遇（巻き込まれる）する危険性は極めて高い。

#### (3) 邦人の被害事案

4月19日午前12時頃、仕事のため、アティトランのホテルに到着した邦人男性は自身のバックがない事に気づいた。唯一目を離したのはバックを車内に置いたままにして、レストランで食事をした時だけのため、この際に盗難にあったと考えられる。

### 3 誘拐・脅迫事件

資産家に限らず、一般市民や外国人がターゲットとなり、その大半は営利誘拐である。被害を届け出ても犯人に対する処罰や被害の補償を望めないばかりか報復される恐れもあり、犯人に身代金を支払い、警察に被害届を提出しないケースが多い。また、日本人を含む東洋系外国人は一般的に裕福と見られているので、ターゲットにならないよう日頃から注意する必要がある。

### 4 日本企業の安全に関わる諸問題

日本企業内において労働条件等を巡るストライキ、衝突等は発生していないが、引き続き各種運動の動向には注意を要する。また、インターネットの普及により急速にグローバル化が進み、ソーシャルネットワークを使用した予期せぬ示威活動が行われる可能性もあるので注意が必要である。（了）